

## activity

## 第二のふるさとへの 兼業プラットフォーム

生まれ育った地元の町や、ユニークな特産品や伝統工芸のある地域を寄付という形で応援するふるさと納税のように、自分の持っているスキルや経験を共感できる会社や地域のプロジェクトに参加して活かす「ふるさと兼業」は、プロジェクト単位でコミットできる兼業プラットフォームである。

都会で生活しながら地域に関わる、高齢者や主婦でも空いた時間とスキルでNPOや中小企業にプロジェクト単位でコミットする、無理のない範囲で自然と、地域が活性的、自身も生きがいを得られるという相乗効果を生む、そんな新たな選択肢を提案している。

関心をもったプロジェクトをSNSでシェアするなど、まずは応援するところから始めることも地域の関わり方の一つ。従来の副業やサイドビジネスとは異なる、新しい働き方が始まっている。



ふるさと兼業

<https://furusatokengyo.jp/>

## Book

## 人生100年時代への 暮らしのヒント

人生100年時代と言われる今、地域コミュニティの希薄化、高齢者の一人暮らし、気候変動による環境の悪化による被害など、様々な社会問題が深刻化している。

創刊30年以上になる、月刊「さあ、言おう」は、人と人が共生する地域社会づくりの取組を多角的にかつタイムリーに紹介する、問題提起型の情報誌である。

一例をあげると、子供の居場所と宿題支援に加え郷土愛を育む活動、高齢者自身も担い手となる生活支援や移動支援、防災+環境プロジェクトとして高齢者から障害者、こどもも参加する畑づくりといったもの。実際に活動を行う上での、コミュニティ形成の悩みや葛藤なども、リアルに紹介している。それぞれの立場でできることを行い、できた達成感や楽しさを感じることで、垣根を超えた助け合いを築いていく。

全国各地でこんなにも面白い活動が行われているのかと、新たな発見や、バックナンバーからは社会問題の遷移も見ることができ、現代社会を健やかに生きるための導きが得られるであろう。



月刊「さあ、言おう」

<https://www.sawayakazaidan.or.jp/library/sa-iou/>

## Place

## 「いのちの手触り」を体感。新感覚の サステナブルファーム&パーク

千葉県木更津市にあるKURKKU FIELDS（クルックフィールズ）は、広大な敷地の中、のびのびと農業や酪農、養鶏などが行われ、敷地内で収穫した食材を味わうことや、アート作品の鑑賞や宿泊も可能で、自然の循環を感じながらゆっくりとした時間を過ごすことができる複合施設である。

総合プロデューサーを務める小林武史氏は、日本を代表する音楽家であり、長年環境問題にも積極的に取り組んでおり、この施設で持続可能な社会を実現していくためのヒントを皆が共有できるようにとの想いで設立・運営されている。

自然の中で、食・農・アート・循環による「いのちの手触り」を感じ、自分の日々の暮らしを考えるきっかけとして、家族や友人とゆったりとした時間を過ごしてみたいかだろうか。



KURKKU FIELDS

<https://kurkkufields.jp/>

## Tool

## 地域資源の循環による “ご近所さん文化”の創出

「買う、売る、捨てる」の消費サイクルから、「貸す、借りる」のシェアサイクルにスイッチを切り替え、さらに、地域の中でのモノの循環を介して、新しい出会いや体験を生み、ご近所さんとの交流といった豊かさを取り戻すきっかけにもなるはず。

「LOCAPI(ロキャピ)」は、登録しているご近所さんと、手渡しできる範囲で私物を貸し借りする、地域密着シェアリングサービスアプリである。

ムダな買い物をしない生活が実現するだけでなく、趣味や気の合う人との出会いや、モノを大切にシェア地球や地域に優しい暮らしを実現できる。

デジタルツールを通じて、かつてあった、お裾分けや支え合いが、新たなライフスタイルの形として誕生しつつある。



ロキャピ

<https://locapi.jp/>